

2009年5月12日

北海道大学

総長 佐伯 浩 殿

北海道大学教職員組合

執行委員長 宮崎隆志

契約職員・短時間勤務職員の待遇改善に関する団体交渉申入れ書

非正規職員は、本来、正規職員の補助的な仕事や、プロジェクトなど短期間の臨時的な仕事に従事する目的で雇用されることになっています。しかし、実際には、一緒に働く正規職員のいない一人職場、非正規職員しか配置されていない職場や、専門的な業務を担っている職場など、大学運営の上で中核的な立場にある職員が多数存在する実態があります。これらの職員の処遇改善は急務と考えます。

北海道大学教職員組合は、昨年度に引き続き、契約職員・短時間勤務職員の待遇改善に関して、下記の通り要求いたします。速やかに団体交渉に応じるよう求めます。

要求項目

1. 北海道大学に雇用されている短時間勤務職員・契約職員の雇用更新の回数制限を撤廃すること。
2. 現職の短時間勤務職員・契約職員から正規職員への登用制度を新たに制度化すること。
3. 前年度から勤務している契約職員の6月期手当の支給基準を正規職員と同様に100分の100とすること。
4. 療養休暇、保育休暇、子の看護休暇を有給とすること。
5. 上記待遇改善にかかる予算措置を部局任せにすることなく、北大として責任を持つこと。

以上